

2020年6月11日

報道機関 各位

県内の学校で『心と体を守る教育』が始まっています ～新型コロナウイルス感染症について正しく学べる教材を県内全学校へ提供～

緊急事態宣言が解除され、6月から県内の学校が段階的に再開されています。

待ちに待った学校の再開ではありますが、新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別、いじめが懸念されています。

日本赤十字社神奈川県支部では、子どもたち自身が正しい知識を持ち、適切に行動できる力を養うことで、その様な懸念を未然に防ぎたいという思いから、新型コロナウイルス感染症について正しく学べる教材を県および県内各教育委員会を通じて全学校に提供しました。

すでに多くの学校で活用いただいております、今後も県内の様々な教育の場で展開されることを期待しています。

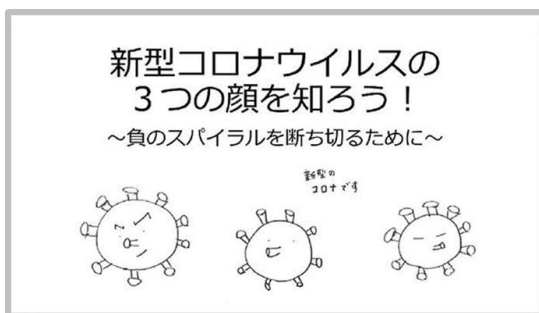
実施校への取材等は調整いたしますので、ぜひご連絡ください。

※次回予定：大和市立大和中学校3年生「道徳」 6月18日（木）8：55～9：40、13：10～13：55

取材申込は、前日正午まで。詳しくは、問い合わせ先までご連絡ください。

【画像提供】以下画像の提供が可能です

- ・ コロナ関連教材
- ・ 活用写真（大和市立大和中学校）



教材を活用した学校の声
は裏面→

【活用した学校からの声】（大和市立大和中学校 2 学年 令和 2 年 6 月 9 日実施分）

○金澤教諭（2 学年道徳担当）

ようやく再開したものの、学校では依然として大人も子どもも新型コロナウイルス感染拡大防止に気をつかいながら生活を送る必要があります。

また、授業や行事など、これからも様々な場面で影響が生じることが予想されており新学年に不安を感じている子どもも少なくありません。

そんな中でも前向きに学校生活に臨むため、道徳の授業で日本赤十字社作成の教材を題材にみんなで考える事にしました。子どもたちはとても真剣に話を聞き、考え、「病気自体の怖さもあるが、そこから簡単に派生してしまう不安や差別が怖い」ということに気づき、その負のスパイラルを断ち切るためには「思いやりの気持ち」を大切にする必要性について学ぶことができました。

この様な状況だからこそ、確かな情報や色々な人の意見に触れながらも自分なりの根拠と考え方を持つことはとても大切であり、今後につながる素晴らしい機会とすることが出来ました。

○生徒 1

新型コロナウイルスの怖い所は病気だけでなく、不安や差別もあるのだと知った。これからは気の持ち方も考えようと思います。

○生徒 2

恐れる心は誰の心にもあるので、他人事ではないのだと感じました。このような時だからこそ、思いやりの心を持って、人と接することが、大切だと思いました。

○生徒 3

改めて自分を見つめ直しました。誰かの言葉で大きく情報が変わる時もあるのだと気づき、これから自分の行動、発言に気を付けていこうと思いました。

【問い合わせ先・取材申込み先】

日本赤十字社神奈川県支部 総務企画課

TEL:045-681-2124 (直通) Email:kanagawa-kikaku@kanagawa.jrc.or.jp

6 月 1 7 日(水) 1 2 : 0 0 までにお問い合わせください。